

富士フィルム
携帯型超音波画像診断装置「FAZONE CB」が
「2010年日経優秀製品・サービス賞
優秀賞 日経産業新聞賞」を受賞
(2011/1/5)

富士フィルム(株)の携帯型超音波画像診断装置「FAZONE CB(ファゾン シービー)」が、日本経済新聞社が主催する「2010年日経優秀製品・サービス賞 優秀賞 日経産業新聞賞」を受賞した。

「日経優秀製品・サービス賞」は、毎年1回、特に優れた新製品や新サービスを表彰するもので、1982年から始まり、今回で29回目となる。2010年に国内で発売された製品やサービスの中から、日本経済新聞社が技術開発性、価格対効果性などの複数項目を総合的に評価し、選定する。

今回「2010年日経優秀製品・サービス賞 優秀賞 日経産業新聞賞」を受賞した「FAZONE CB」は、小型・軽量ながら、ハイエンド機同等レベルの高画質と快適な操作性を実現した携帯型超音波画像診断装置。広視野角な12インチのLCDモニターを採用し、全画面に臨床画像を表示することで据置型の大型装置同等の見やすい大きさで画像を確認できる。

医師の診断ワークフローに合わせて使用頻度の高い基本機能のボタンを大型化することや、専用タッチパネルを搭載するなど、快適で直感的な操作性を実現。据置型に匹敵する快適な操作性と機能、高画像による超音波検査を病院のベッドサイドや救急などでも可能にした。



富士フィルム「FAZONE CB」